

# 経営

Valuable Business Information

## さぶりメント

各方面の専門家による  
ビジネスに役立つエッセンス

### 「デザイナー」 活用のススメ

貴社は「自社」の持つ「価値」を理解していますか？  
その「価値」を分かりやすく伝えられていますか？  
デザインの役割を理解し、うまく活用できていますか？  
中小企業にとってのデザインの「役割」と、  
デザイナーとの「関わり方」についてお話しさせていただきます。

#### 情報化社会の商品価値

インターネットが普及し、あらゆる情報を手元の端末から手にすることができるようになりました。街で気になる商品を見かけたら、すぐにスマートフォンでチェック。さらに家に帰ってからパソコンを使って比較サイトで口コミや価格を調べる、という方も多いのではないでしょうか？

「情報化社会」により、求められる商品価値はカタチある「モノ」から「モノ」の「情報」へシフトしてきました。それでは、お客様のところに伝わる、価値のある「情報」とはどのようなものなのでしょうか？

#### 「モノ」から「コト」へ

「モノより思い出」というフレーズを全面に打ち出したクルマがあります。クルマの見た目や機能は控えめに、画面いっぱいの子供たちの笑顔が映し出される印象的なCMが展開されました。

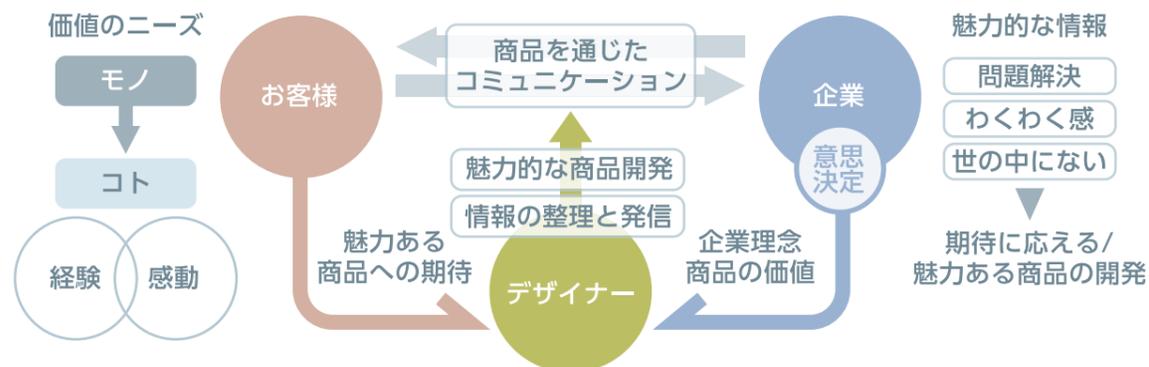
「このクルマは自分も子供たちも笑顔にしてくれる！」  
「クルマ」の価値が「クルマがもたらす経験」にシフトしたことを象徴するCMでした。「モノ」を手にした先にある「コト＝経験や感動」につながる「魅力的な情報」がお客様に伝わり、購買につながります。

#### お客様にとっての「魅力的な商品」とは

よく売れる商品には、3つのポイントをおさえたものが多く見受けられます。

- ・誰かの問題を解決している
- ・誰かが今よりもっとうれしくなる、楽しくなる(わくわく感)
- ・今まで誰もやっていない

機能性や価格などのスペックにこだわるのではなく、「私たちはお客様のために何ができるのか」、「お客様により良い価値を提供する」、「お客様は商品に何を期待しているのか」、この点にフォーカスして他社との差別化を明確にできた商品が、お客様に愛され支持されます。



#### 味方の名はデザイナー

実はデザイナーとは、見た目のカタチを作るだけの職業ではないのです。「魅力的な情報を備えた商品」の開発にとどまらず、お客様に「魅力」がより伝わるように「情報」を整理・発信することができるのです。

企業や商品の価値を広く、ときには狭く、客観的視点に立って俯瞰します。どうしたら商品の特徴を活かすことができるのか。どんな制約があるのか。商品が持つ「魅力」とお客様が感じる「魅力」・「期待」にどれだけフォーカスできるのか。商品の「魅力」がもっとも映えるようにするためには、なにをどのように伝えたいか。

「誰に」、「どうしたら」、「もっとも喜んでもらえるだろうか？」

自らの経験と専門知識を総動員して、商品のこと、お客様のこと、商品の「価値」を必死に考えます。企業と一緒に商品に向かい合える、強い味方がデザイナーなのです。

#### 決定するのは企業

経験豊富で専門知識に長けたデザイナーは、情報を整理して発信するとき、商品を開発するとき強い味方になります。一方でデザイナーにものごとを依頼する際に気をつけないといけない大切なこともあります。

「ものごとを最終的に決定するのは企業」なのです。

デザイナーは、与えられた情報や制約を整理して、可能性をふくらませたデザインを創り出します。その中から、自らが歩む道を自分たちで選ばなければいけません。

#### デザイナーの選びかた

商品には企業の「経営理念＝考え方」が表れます。お客様が求める「経験」・「感動」と自社の「魅力」・「価値」との距離、市場における自社のポジション、目指すべき姿、社会との関わりなど自社の「考え方」に共感・理解を示してくれる、また「考え方」や「感性」に共感できるデザイナーを選択することが、優れた「商品」につながります。

どれだけ優れたセンスと技術力を持ったデザイナーと

手を組んでも、企業の商品開発の方向性を共有できないと、良い結果は生まれません。

#### 未来を切り拓くためのツールがデザイナー

「魅力的な情報を備えた商品を生み出す」こと、「商品の魅力、情報をお客様により伝わるように発信すること」、情報化社会がさらにスピードを上げるなか、このふたつのキーワードはより重要になるでしょう。デザイナーの活用は企業の「未来」を切り拓くひとつの大きな「ツール」となる可能性を秘めています。「パートナー」として信頼のおける関係を構築していくことが、お互いの未来につながると信じています。デザインの理解とデザイナーの有効活用を検討してみたいはいかがでしょうか。



フリーランス デザイナー  
たか はし まなぶ  
高橋 学

#### 【略歴】

秋田県秋田市出身/東京都江戸川区在住  
2001年、秋田公立美術工芸短期大学/専攻科修了後、大手家電メーカーに勤務。  
その後デザイン事務所勤務を経て2012年独立。  
現在は工業製品やタッチパネル(GUI)のデザインをはじめ、会社案内や製品カタログなどのプロモーションツールや、技術者向けの取扱説明書のほか、2D/3Dオリジナルイラスト制作など、商品・製品の開発からセールス・マーケティングまでトータルサポート。

WEB SITE : <http://www.qwantwerp.com/>  
E-Mail : [takahashi@qwantwerp.com](mailto:takahashi@qwantwerp.com)